

## 通訳案内士試験対策

### <日本歴史予想問題> (最重要事項のまとめ)

(各項目の最後の数字は、過去に出題された西暦年度を示します)

#### ●遺跡

- ・荒神谷遺跡(こうじんだにいせき): 島根県北東部、出雲市に所在する弥生時代の青銅器埋納遺跡。(2014)
- ・吉野ヶ里遺跡(よしのがりいせき): 佐賀県東部、吉野ヶ里丘陵周辺に所在する弥生時代主体の環濠集落の大遺跡群。(2014)
- ・原の辻遺跡(はらのつじいせき) : 長崎県壱岐市東部の芦辺から石田にまたがる弥生時代中～後期の遺跡。(2014)
- ・大塚遺跡(おおつかいせき): 横浜市港北区中川町、牛久保町にまたがり、早淵川中流左岸の標高約 50m の台地上に位置した弥生時代中期の集落跡。(2014)
- ・登呂遺跡(とろいせき): 静岡市登呂にある弥生時代後期の遺跡。(2014)
- ・稲荷山古墳: 埼玉県行田市にある前方後円墳。金錯銘を有する鉄剣(稲荷山古墳出土鉄剣)が出土したことで知られる。(2007)
- ・江田船山古墳: 熊本県玉名郡和水町に所在する前方後円墳。日本最古の本格的記録文書である 75 文字の銀象嵌(ぎんぞうがん)銘をもつ大刀が出土したことで著名。(2007)
- ・高松塚古墳: 奈良県高市郡明日香村に存在する古墳。藤原京期(694 年～710 年)に築造された終末期古墳である。1972 年に極彩色の壁画が発見されたことで一躍注目されるようになった。(2010)

#### ●城、史跡など

- ・志賀島(しかのしま)(福岡県): 江戸時代に、漢の皇帝が委奴国王に与えたとされる「漢委奴国王」の五つ文字が刻まれた金印が見つかった。(2010)
- ・大宰府: 奈良、平安時代に対外防備および九州を総管するために筑前国筑紫郡(現在の福岡県太宰府市)におかれた役所。(2009)(2011)(2014)
- ・水城(みずき): 664 年大宰府防衛のために築造された土塁。(2014)
- ・胆沢城(いさわじょう): 岩手県奥州市にあった古代の城。延暦 21 年(802)蝦夷(えぞ)征討に際し、坂上田村麻呂が築城。(2006)(2013)(2014)
- ・多賀城: 大和朝廷が蝦夷を制圧するため、軍事的拠点として蝦夷との境界となっていた松島丘陵の南東部分である塩釜丘陵上に設置した。(2006)(2013)(2014)
- ・首里城(しゅりじょう): 沖縄県那覇市にある旧琉球王城。昭和 20 年(1945)の沖縄戦で灰燼に帰したが、その後、守礼門・正殿などが復元された。(2006)(2014)
- ・勝連城(かつれんぐすく)(かつれんじょう): 沖縄県うるま市勝連南風原(かつれんはえばる)にある城跡。(2006)(2014)
- ・今帰仁城(なきじんじょう)(なきじんぐすく): 別名: 北山城(ほくざんじょう、ほくざんぐすく)は、沖縄県国頭郡今帰仁村に位置する城跡である。(2006)(2014)
- ・志波城: 岩手県盛岡市の西の郊外、現在の中太田・下太田にまたがる地域にあった古代城柵

(日本の城)。(2006)(2013)(2006)

- **秋田城**: 日本の古代(奈良時代から平安時代)にかけて、出羽国秋田に置かれた城柵である。(2006)(2013)(2014)
- **彦根城**: 滋賀県彦根市金亀(こんき)町にある城。彦根藩井伊氏の居城。(2014)
- **二条城**: 京都市にある江戸時代の日本の城。城内全体が国の史跡に指定されている。さらに1994年にはユネスコの世界文化遺産に「古都京都の文化財」として登録されている。(2012)

## ●乱・事件・戦争など

- **壬申の乱(672)**: 大友皇子の近江朝廷側と吉野の大海人皇子とが皇位をめぐって争った内乱。大海人皇子が勝利し、後に天武天皇として即位した。
- **承和の変(842)**: 伴健岑(とものこわみね)・橘逸勢(たちばなのはやなり)らが謀反を企てたとして、二人が流罪となり、仁明天皇の皇太子恒貞親王が廃された事件。(2014)
- **応天門の変(866)**: 大内裏八省院の正門応天門が炎上した事件をめぐる宮廷の政変。(2008)(2014)
- **安和の変(969)**: 冷泉天皇の宮廷に起きた政変。この結果、源高明が失脚して、藤原氏の独占的地位が確立した。(2014)
- **壇ノ浦の戦い(1185)**: 源平最後の戦い(2011)
- **承久の乱(1221)**: 後鳥羽上皇による鎌倉幕府打倒の兵乱。幕府軍に上皇方は破れ、後鳥羽上皇ら3上皇が流罪となった。(2008)
- **文永・弘安の役[元寇](1274、1281)**: 2度にわたる中国の元の日本来襲。暴風の助けもあり元軍は2度とも敗退。
- **元弘の変(1331)**: 後醍醐天皇が企てた鎌倉幕府討伐の計画。未然に露見し、天皇は笠置(かさぎ)寺や有王山中に逃れたが、翌年捕らえられ、隠岐(おき)に流された。(2014)
- **応仁の乱(1467~77)**: 細川勝元と山名持豊の対立に將軍継嗣問題と畠山・斯波家の家督争いがからんで起きた11年間の大乱。(2008)
- **三浦の乱(1510)**: 朝鮮の三浦に起った日本人居留民の暴動事件。これより前、朝鮮王朝(李朝)は海防を強化して倭寇にそなえ、懐柔や武力討伐などの倭寇壊滅策をとる一方、日本に使臣を送り倭寇禁圧を要請した。(2014)
- **寧波の乱(1523)**: 細川氏と大内氏の遣明船の入明に際し、ニンポー(寧波)で引起された武闘事件。(2014)
- **島原の乱(1637~38)**: キリシタン農民の一揆。天草四郎時貞を大将に3万8千人の農民が原城址に立てこもった。(2009)
- **由井正雪の乱(1651)**: 江戸幕府第3代將軍徳川家光の死の直後に、幕府政策への批判と浪人の救済を掲げ幕府転覆を計画した。決起の寸前になり計画の存在を密告され正雪は自刃した。(2009)
- **大塩平八郎の乱(1837)**: 大坂町奉行所の元与力大塩平八郎とその門人らが起こした江戸幕府に対する反乱。(2009)(2011)
- **生田万の乱(1837)**: 国学者の生田万が越後国柏崎で貧民救済のため蜂起した事件。天保の大飢饉や大塩平八郎の乱の余波。(2009)

- ・**蛮社の獄(1839)**:江戸幕府による洋学者弾圧事件。渡辺崋山、高野長英らがモリソン号事件を批判したとして逮捕され、処罰された。
- ・**桜田門外の変(1860)**:江戸城桜田門外で水戸藩からの脱藩者 17 名と薩摩藩士 1 名が彦根藩の行列を襲撃、大老井伊直弼を暗殺した事件。(2009)
- ・**坂下門外の変(1862)**:江戸城坂下門外にて、尊攘派の水戸浪士 6 人が老中安藤信正を襲撃し、負傷させた事件。(2009)
- ・**寺田屋事件(1862)**:薩摩藩尊皇派が薩摩藩主の父で事実上の指導者・島津久光によって鎮撫された事件。(2009)
- ・**生野の変(1863)**:但馬国生野(兵庫県生野町)において尊皇攘夷派が挙兵した事件(2009)
- ・**八月十八日の変(1863)**:会津藩・薩摩藩を中心とした公武合体派が、長州藩を主とする尊皇攘夷派を京都から追放したクーデター事件。(2009)
- ・**池田屋事件(1864)**:京都三条木屋町の旅館・池田屋に潜伏していた長州藩・土佐藩などの尊王攘夷派志士を、新選組が襲撃した事件。(2009)
- ・**禁門の変(=蛤御門の変)(1864)**:京都で起きた武力衝突事件。(2009)(2011)
- ・**鳥羽伏見の戦い(1868)**:戊辰戦争の緒戦となった戦である。(2011)
- ・**五稜郭の戦い(箱館戦争)(1868~1869)**:戊辰戦争の局面のひとつで、新政府軍と榎本武揚率いる旧幕府軍との最後の戦闘。(2011)
- ・**血税一揆(1873)**:徴兵令に反対するために、農民を中心として行われた一揆。徴兵令反対一揆ともよばれる。(2007)
- ・**佐賀の乱(1874)**:江藤新平らをリーダーとして佐賀で起こった明治政府に対する士族反乱の一つ。(2011)
- ・**萩の乱(1876)**:山口県萩で起こった明治政府に対する士族の反乱。(2008)(2009)(2011)
- ・**秋月の乱(1876)**:福岡県秋月で起こった明治政府に対する士族の反乱。(2008)
- ・**神風連の乱(1876)**:熊本市で起こった明治政府に対する士族の反乱。(2008)
- ・**西南戦争(1877)**:明治新政府に対する不平士族最大の反乱。鹿児島私学校生徒を中心とした士族が西郷隆盛を擁して挙兵し、政府軍に鎮圧された。(2008)
- ・**福島事件(1882)**:自由民権運動のなかで、福島県の自由党员・農民が県令三島通庸の圧政に反抗した事件。(2009)
- ・**秩父事件(1884)**:埼玉県秩父郡の農民が政府に対して起こした武装蜂起事件。(2007)
- ・**飯田事件(1884)**:明治政府転覆を狙う挙兵が計画された事件。(2009)
- ・**大津事件(1891)**:日本を訪問中のロシア帝国皇太子・ニコライが、滋賀県大津市で警備にあっていた警察官・津田三蔵に突然斬りつけられ負傷した暗殺未遂事件。(2009)
- ・**日比谷焼打事件(1905)**:東京市日比谷公園で行われた日露戦争の講和条約ポーツマス条約に反対する国民集会をきっかけに発生した日本の暴動事件。(2007)
- ・**米騒動(1918)**:日本で発生した、米の価格急騰に伴う暴動事件。(2007)
- ・**横浜事件(1942~1945)**:雑誌に掲載された論文がきっかけとなり、編集者、新聞記者ら約 60 人が逮捕され、約 30 人が有罪となり、4 人が獄死した事件。(2008)
- ・**松川事件(1949)**:福島県の日本国有鉄道(国鉄)東北本線で起きた列車往来妨害事件。(2008)
- ・**下山事件(1949)**:国鉄総裁下山定則が出勤途中に失踪し、死体となって発見された事件。

(2008)

- ・**三鷹事件(1949)**: 日本・東京都北多摩郡三鷹町(現・三鷹市)と武蔵野市にまたがる日本国有鉄道中央本線三鷹駅構内で起きた無人列車暴走事件。(2008)
- ・**砂川事件(1957)**: 基地拡張に反対する砂川闘争をめぐる一連の事件。(2008)

## ●古代の文化区分

- ・**飛鳥文化(592～645)**: 日本史上、都が主として飛鳥地方にあった時代(崇峻(すしゅん)天皇5年(592年)から和銅3年(710年)の118年間にかけて飛鳥に宮・都が置かれていた時代)の文化。飛鳥文化の特質としては、(1) 中国六朝(りくちょう)文化を朝鮮半島を経由して摂取した文化、(2) 仏教を基調とした文化、(3) 都のおかれていた飛鳥地方を中心に畿内とその周辺の狭い地方に発達した文化、などがあげられる。(2014)
- ・**白鳳文化(645～710)**: 白鳳時代の文化。唐との交通により、その影響を受けた仏教美術にすぐれた作品が多い。薬師寺の東塔や薬師三尊像、法隆寺金堂壁画などがその代表。また、国史の編纂が開始され、漢詩・和歌なども盛んとなった。(2014)
- ・**天平文化(710～794)**: 奈良の都を中心に栄えた8世紀の貴族文化。聖武天皇のときが最盛期で、天平(729～749年)はその時期の年号に由来する。唐文化を介して遠く西域、インド、ペルシアなど世界各地の文化を受容し、新羅(しらぎ)や渤海(ぼっかい)との往来も行なわれた。(2014)
- ・**弘仁貞観文化(810～877)**: 主として美術史上用いられる名称。弘仁(810～824)、貞観(859～877)の平安時代前期を中心とした文化。美術史においては平安時代を2期に分け、後期を藤原文化とするのに対し、延暦13(794)年の平安遷都から遣唐使が廃止された寛平6(894)年までの約1世紀の平安時代前期の文化を呼ぶ。(2014)
- ・**国風文化(10世紀～12世紀)**: 平安時代中期以降の日本文化。7世紀から9世紀にかけて、日本は唐を中心とする大陸文化の摂取に努めたが、10世紀頃から12世紀にかけては日本独特の文化を創造するようになる。平安時代前期までの文化はあらゆる面で唐の影響を強く受けて発達したので唐風文化と呼ばれ、これに対し中期から後期にかけては著しく日本化されたものとなったので国風文化と呼ばれる。仮名文学・寝殿造り・大和絵・浄土教芸術などが発達した。(菅原道真の建議により、894年に遣唐使が廃止された。白紙(894)に戻す、遣唐使と覚える。)(2014)

## ●遣隋使

推古朝の倭国(倭國)が技術や制度を学ぶために隋に派遣した朝貢使のことをいう。600年(推古8年)～618年(推古26年)の18年間に5回以上派遣されている。なお、日本という名称が使用されたのは遣唐使からである。

## ●遣唐使

日本が唐に派遣した使節である。日本側の史料では唐の皇帝と対等に交易・外交をしていたとされるが、『旧唐書』や『新唐書』の記述においては、「倭国が唐に派遣した朝貢使」とされる。中国では619年に隋が滅び、唐が建ったので、それまで派遣していた遣隋使に替えてこの名称となった。寛平6年(894年)に菅原道真の建議により停止された。現在では中国側において派遣された

遣唐使の墓が発見されたりしている。

## ●法律・条約など

- ・**貞永式目[御成敗式目](1232)**:北条泰時が定めた鎌倉幕府の基本法律で、日本最初の武家法。源頼朝以来の先例や武家社会の慣習を基準とした。
- ・**武家諸法度(1615～)**:江戸時代の武家統制のための基本法。1615年の徳川秀忠の元和令を初めとし、家光の寛永令で整備された。
- ・**琉米修好条約(1954)**:琉球王国とアメリカ合衆国が締結した条約。(2010)
- ・**日米和親条約(1854)**:老中阿部正弘とアメリカのペリーとの間で締結された条約。神奈川条約とも呼ばれる。(2009)(2010)
- ・**日米修好通商条約(1858)**:江戸幕府が米国総領事ハリスとの間に調印した条約。下田・箱館の他、領事裁判権を認め、関税自主権がないなど極めて不平等な内容であった。
- ・**大日本帝国憲法発布(1889)**:通称、明治憲法。ドイツ憲法に範をとり、伊藤博文らの起草で欽定憲法として発布。
- ・**日米通商航海条約(1894)**:日本とアメリカ合衆国とのあいだの通商航海の自由と内国民待遇を原則とする条約(2010)
- ・**下関条約(1895)**:日清戦争の講和条約。日本全権伊藤博文・陸奥宗光と清国全権李鴻章が下関で調印。(2008)(2011)
- ・**日英同盟(1902)**:桂内閣の時に締結された、ロシアの南下策に対するイギリスとの同盟。(2011)
- ・**ポーツマス条約(1905)**:アメリカのポーツマスで調印した日露戦争の講和条約。(2008)(2009)
- ・**治安維持法(1925)**:加藤高明内閣の時に社会主義運動弾圧のために制定された法律。国体の変革、私有財産の否認を目的とする結社が禁止された。
- ・**普通選挙法(1925)**:治安維持法と引き換えに成立した法律。女性の参政権を認めないなど不完全な普通選挙法であった。
- ・**サンフランシスコ平和条約(1951)**:日本と連合国 48 カ国との間に結ばれた第 2 次世界大戦終結のための講和条約。日本全権は吉田茂。翌年、日本は主権を回復した。
- ・**日米安全保障条約(1951)**:対日講和条約と同時に日米間で結ばれた条約。講和による占領軍撤退後の日本の安全を保障するため、米軍の日本駐留を定めた。(2010)

## ●政治史関連人物

- ・**倭の五王(5世紀)**:中国の歴史書に記述のある倭国の五人の王、すなわち讚、珍、済、興、武をいう。倭の五王が誰であるかについては諸説ある。(2006)
- ・**厩戸皇子**:聖徳太子のこと。593年推古天皇の摂政となり、冠位十二階や憲法十七条の制定、小野妹子を遣隋使として派遣するなどを行った。経典注釈書「三経義疏」を著した。(2008)
- ・**中臣鎌足**:大化の改新の中心人物であり、改新後も中大兄皇子(天智天皇)の腹心として活躍し、藤原氏繁栄の礎を築いた。(2012)
- ・**天武天皇**:飛鳥時代の天皇。天智天皇の弟。672年壬申の乱で甥の大友皇子と皇位を争って勝利し、翌年即位。八色の姓を定めるなど、天皇を中心とする皇親政治を推進した。
- ・**吉備真備**:奈良時代の学者・公卿。(2012)

- **聖武天皇**:奈良時代の天皇。皇后は光明子。深く仏教を信じ、全国に国分寺を建立し、東大寺の大仏を造立した。数多くの遺品が東大寺正倉院宝庫に納められている。
- **坂上田村麻呂**:平安初期の武将。延暦13年(794)蝦夷(えぞ)を征討し、同16年征夷大將軍となった。その後、胆沢城(いさわじょう)を造営し、蝦夷地平定に功を残した。京都の清水寺の創建者と伝えられる。(2014)
- **阿弭流為(あてりい)**:奈良末から平安初頭の蝦夷(えみし)の族長。789年(延暦8)に胆沢(いさわ)(岩手県南部)を対象とする朝廷の征夷軍の侵攻に対し、強力な抵抗戦を指導して多大の損害を与えた。(2014)
- **藤原道長**:後一条・後朱雀・後冷泉の外戚。1017年太政大臣となり、その子頼通とともに藤原氏の全盛期を現出した。
- **平将門**:平安時代中期の関東の豪族。(2013)
- **菅原道真**:平安時代の貴族、学者、漢詩人、政治家。遣唐使の廃止を建議した。(2010)
- **藤原清衡**:平安末期の陸奥(むつ)の豪族。後三年の役で源義家に味方して異父弟清原家衡らを討ち、陸奥六郡と出羽の管領権を握り、奥州藤原氏の基を築いた。平泉に中尊寺を建立。(2011)(2014)
- **源頼朝**:鎌倉幕府初代将軍。1185年に壇の浦の戦いで平氏を滅亡させた。同年、守護・地頭を設置して封建制度を確立。1192年征夷大將軍となり鎌倉に幕府を開いた。
- **源頼家**:鎌倉幕府第2代将軍。頼朝の長男。母は北条政子。父の死後家督を継ぎ、征夷大將軍となった。北条氏の合議制による将軍権能の制限を嫌い、これを討とうとしたが失敗、伊豆の修禅寺に幽閉されて殺された。(2014)
- **後鳥羽上皇**:鎌倉幕府に対抗して1221年承久の乱を起こすが敗れ、隠岐に流された。歌人としては優れ「新古今和歌集」を編纂させた(1205年藤原定家ら撰進)。(2010)
- **北条泰時**:鎌倉幕府3代執権。承久の乱で功を立て、初代六波羅探題となった。執権就任後、連署・評定衆を置いて合議制を制度化し、1232年には貞永式目[御成敗目]を制定して執権政治の確立に努めた。
- **北条時宗**:鎌倉幕府8代執権。文永の役・弘安の役では元軍の撃退に成功。禅宗に深く帰依し、蘭溪道隆の没後、宋より無学祖元を招いて建長寺の住持とし、のち円覚寺の開山とした。
- **後醍醐天皇**:鎌倉末期～南北朝初期の天皇。院政を廃して天皇親政を行い、正中の変、元弘の乱を経て鎌倉幕府を滅ぼし建武新政を行った。
- **足利義満**:室町幕府3代将軍。京都室町に将軍邸宅「花の御所」を造営。1392年には南北朝の合一を実現した。北山に金閣を建て、北山文化を現出。15世紀初頭明と国交を開き、日明貿易[勘合貿易]を行った。
- **足利義政**:室町幕府8代将軍。1467年家督相続の争いなどから応仁の乱が起こると、将軍職を子の義尚に譲り、自らは東山に銀閣を建て、侘茶、水墨画など芸術三昧の隠居生活を送った。(2008)
- **織田信長**:安土桃山時代の武将。桶狭間の戦いに勝利して勢力を拡大、1573年義昭を京都から追放し、室町幕府は滅亡した。1582年本能寺の変で明智光秀に滅ぼされた。
- **豊臣秀吉**:安土桃山時代の武将。織田信長に仕え、信長の死後、1590年全国統一を達成。太閤検地によって近世封建社会の基礎を築き、刀狩によって兵農分離を徹底した。晩年、2度の

朝鮮出兵を行ったが失敗した。(2008)

- ・**黒田如水**:戦国時代から江戸時代前期にかけての武将・大名。戦国の三英傑に重用され筑前国福岡藩祖となる。キリシタン大名でもあった。(2008)
- ・**徳川家康**:江戸幕府初代将軍。1600年の関ヶ原の戦いで石田三成の西軍を破り天下の実権を握る。1603年征夷大将軍となり江戸幕府を開いた。1615年の大坂夏の陣で豊臣氏を滅ぼし、江戸幕府260年の基礎を固めた。(2008)
- ・**徳川吉宗**:江戸幕府8代将軍。享保の改革を行い、定免法の採用、町火消の創設、目安箱の設置、上げ米の制、相対済し令、新田開発、公事方御定書の制定など、財政再建・幕政改革に努めた。(2012)
- ・**田沼意次**:江戸時代中期の旗本、のち大名、江戸幕府老中。遠江相良藩の初代藩主である。(2012)
- ・**新井白石**:江戸中期の儒者・政治家。6・7代将軍の下で「正徳の治」を行う。著書に「読史余論」「西洋紀聞」など。(2007)(2010)(2011)(2014)
- ・**水野忠邦**:江戸時代後期の大名・老中。肥前唐津藩主、のち遠州浜松藩主。(2012)
- ・**柳沢吉保**:江戸時代前期の幕府側用人・譜代大名。第5代将軍徳川綱吉の寵愛を受けて、元禄時代には大老格として幕政を主導した。(2012)
- ・**間宮林蔵**:江戸時代後期の隠密、探検家。樺太が島である事を確認した事で知られる。
- ・**伊能忠敬**:江戸時代の商人・測量家である。足かけ17年をかけて全国を測量し「大日本沿海輿地全図」を完成させ、日本史上はじめて国土の正確な姿を明らかにした。
- ・**伊達政宗**:出羽国と陸奥国の戦国大名・伊達氏の第17代当主。仙台藩初代藩主。支倉常長を欧州に派遣。
- ・**高杉晋作**:松下村塾で学んだ長州藩士。奇兵隊を組織。功山寺挙兵。
- ・**坂本龍馬**:土佐郷土株を持つ裕福な商家に生まれ、脱藩した後は志士として活動し、薩長同盟の斡旋、大政奉還の成立に尽力するなど倒幕および明治維新に影響を与えた。大政奉還成立の1ヶ月後に近江屋事件で暗殺された。
- ・**西郷隆盛**:薩摩藩の下級武士として尊攘運動に活躍し、1866年薩長同盟を締結。戊辰戦争の参謀。1871年廃藩置県に尽力、征韓論に敗れ下野。1877年、薩摩の士族にかつがれて西南戦争を起こしたが、敗れて自刃した。(2008)
- ・**伊藤博文**:松下村塾に学び、討幕運動に活躍。明治政府にあつて、帝国憲法の制定、天皇制の確立に尽力。初代首相・枢密院議長・立憲政友会総裁などを歴任。組閣四度に及び、その間日清戦争を遂行。(2006)(2008)(2011)(2014)
- ・**森有礼**:日本初代の文部大臣。(2008)
- ・**小村寿太郎**:明治時代の外交官。日露戦争(1904~05)後のポーツマス会議では、第1次桂内閣のもと日本全権として講和条約を締結した。1911年には第2次桂内閣の外相として、関税自主権の完全回復に成功した。
- ・**陸奥宗光**:日本の政治家、外交官、武士。明治初期に行われた版籍奉還、廃藩置県、徴兵令、地租改正に大きな影響を与えた。また、カミソリ大臣と呼ばれ、伊藤内閣の外務大臣として不平等条約の改正に辣腕を振るった。
- ・**原敬**:1918年米騒動のため寺内正毅内閣が倒れると、その後を受けてわが国最初の本格的政

党内閣を組織。「平民宰相」として国民に歓迎された。

- ・加藤高明: 憲政会党主。第2次護憲運動の後に、1925年「普通選挙法」とともに「治安維持法」を公布した。
- ・東久邇稔彦: 旧皇族、軍人。第2次大戦直後の首相。(2014)
- ・吉田茂: 第2次大戦後の占領体制下における日本の保守政治を代表する政治家。(2013)(2014)
- ・鳩山一郎: 政治家。戦時中大政翼賛会に反対した数少ない政治家。(2013)(2014)
- ・片山哲: 大正・昭和期の弁護士、政治家。戦後日本社会党結成に参加、書記長に就任、46年委員長となる。(2014)
- ・幣原喜重郎: 第1次世界大戦後のワシントン体制のもとで活躍し、当時の日本外交を代表する外交官。(2013)(2014)
- ・岸信介: 義弟松岡洋右や東條英機、その片腕の星野直樹、日産の鮎川義介らとともに満州の「ニキ三スケ」と呼ばれた。

### ●キリシタン大名

- ・有馬晴信:(2007)(2009)
- ・大友宗麟:(2007)(2009)
- ・大村純忠:(2007)(2009)
- ・高山右近:(2007)
- ・小西行長:(2007)

### ●奥州藤原氏 4代 100年の栄華

- 藤原清衡:(2014)(2011)
- 藤原基衡:(2011)
- 藤原秀衡:(2011)
- 藤原泰衡:(2011)

### ●僧侶・神道家

- ・最澄: 平安初期の僧。天台宗の開祖。比叡山に延暦寺を建立。山家学生式を定め、大乘戒壇の設置を訴えた。(2010)
- ・空海: 平安初期の僧。真言宗の開祖。高野山に金剛峯寺を建立。綜芸種智院を京都に開設した。三筆のひとり。(2010)
- ・源信: 平安中期の僧。「恵心僧都」とも。比叡山に学ぶ。著書「往生要集」によって日本浄土教の祖とされる。(2011)(2013)
- ・空也: 平安中期の僧。天台宗空也派の祖。常に市中に立って庶民に念仏をすすめて、貴賤(きせん)を問わず幅広い帰依者を得て、阿弥陀の聖・市の聖と尊称された。(2014)
- ・重源: 鎌倉初期の浄土宗の僧。密教を学んだのち、法然から浄土教を学び諸国を遊行。東大寺再建のための大勧進職に任じられ、天竺様式をとり入れた大仏殿を完成。(2014)
- ・法然: 平安後期～鎌倉初期の僧。浄土宗の開祖。専修念仏による往生を説いた。主著「選択本願念仏集」。(2006)(2013)



- ・**栄西**:平安後期～鎌倉初期の禅僧。臨濟宗(禅宗)の祖。京都に建仁寺を建立。著書「興禅護国論」「喫茶養生記」。(2010)(2011)
- ・**親鸞**:鎌倉時代の僧。浄土真宗の開祖。師は法然。主著「教行信証」。「歎異抄」は弟子唯円の編による法話集。(2010)(2011)(2013)
- ・**道元**:鎌倉時代の禅僧。曹洞宗(禅宗)の開祖。越前に永平寺を建立。「只管打坐」を唱え、著書に「正法眼蔵」がある。(2010)(2011)(2013)
- ・**日蓮**:鎌倉時代の僧。仏法の真髓は法華経にあると悟り、日蓮宗(法華宗)を開いた。主著「立正安国論」。(2010)(2013)
- ・**一遍**:鎌倉時代の僧。時宗の開祖。踊念仏により時宗の普及に努めた。「一遍上人語録」は法話集。(2010)(2011)(2013)
- ・**無学祖元**:鎌倉時代の臨濟宗の僧。建長寺・円覚寺に兼住して日本の臨濟宗に影響を与える。(2006)(2008)
- ・**蘭溪道隆**:鎌倉時代中期の南宋から渡来した禅僧・大覚派の祖。(2006)(2008)
- ・**夢窓疎石**:鎌倉末期・南北朝時代の禅僧。後醍醐天皇、足利尊氏の帰依を得た。西芳寺、天竜寺の庭園をつくる。(2006)(2008)
- ・**蓮如**:室町時代の浄土真宗の僧。本願寺第8世。本願寺中興の祖。(2010)(2013)
- ・**吉田兼俱(よしだかねとも)**:室町時代の神道家吉田神社の神職。本地垂迹説に対して神主仏従説を唱え、陰陽五行説などを加えて吉田神道を大成。(2014)
- ・**度会家行(わたらいいえゆき)**:南北朝時代、伊勢神道を大成した神道家。南北朝時代の勤王家として北畠親房に大きな影響を与えた。(2014)
- ・**山崎闇斎**:江戸時代前期の儒者、神道家。著作に「文会筆録」など。(2007)(2014)

## ●寺、神社

- ・**薬師寺(680)**:奈良県奈良市西ノ京町に所在する寺院であり、興福寺とともに法相宗の大本山である。奈良の文化財の一部として、世界遺産に登録されている。(2011)(2013)(2014)
- ・**興福寺(こうふくじ)(710)**:奈良市にある、南都六宗の一つ、法相宗の大本山の寺院である。南都七大寺の一つに数えられる。「古都奈良の文化財」の一部として世界遺産に登録されている。(2013)(2014)
- ・**高山寺(774)**:京都市右京区にある寺院。創建は奈良時代と伝えるが、実質的な開基は、鎌倉時代の明恵である。(2012)(2014)
- ・**中尊寺(850)**:天台宗東大本山の寺院。本尊は阿弥陀如来。寺伝では円仁の開山とされる。実質的な開基は藤原清衡。
- ・**毛越寺(もうつうじ)(850)**:岩手県西磐井郡平泉町にある天台宗の寺院。開山は円仁(慈覚大師)と伝える。本尊は薬師如来、脇侍は日光菩薩・月光菩薩。(2007)(2009)(2014)
- ・**六波羅蜜寺(951)**:踊り念仏で知られる空也が平安時代中期に造立した十一面観音を本尊とする道場に由来し、当初西光寺と称した。(2014)
- ・**建仁寺(1202)**:京都府京都市東山区にある臨濟宗建仁寺派大本山の寺院。本尊は釈迦如来、開基(創立者)は源頼家、開山は栄西である。(2006)(2007)
- ・**永平寺(1246)**:福井県吉田郡永平寺町にある曹洞宗の本山寺院。開山は道元、本尊は釈迦如

来・弥勒仏・阿弥陀如来の三世仏である。(2006)(2007)

- ・**建長寺(けんちょうじ)(1253)**:鎌倉市にある禅宗の寺院で、臨済宗建長寺派の大本山である。(2007)(2014)
- ・**久遠寺(1281)**:山梨県南巨摩郡身延町にある、日蓮宗の総本山(祖山)。(2007)
- ・**円覚寺(1282)**:神奈川県鎌倉市山ノ内にある臨済宗円覚寺派の大本山であり、鎌倉五山第二位に列せられる。本尊は宝冠釈迦如来、開基は北条時宗、開山は無学祖元である。(2007)
- ・**南禅寺(1291)**:京都市左京区南禅寺福地町にある、臨済宗南禅寺派大本山の寺院である。(2008)
- ・**大徳寺(京都府)(1325)**:臨済宗大徳寺派大本山である。本尊は釈迦如来。開基(創立者)は大燈国師宗峰妙超。(2006)
- ・**清浄光寺(1325)**:神奈川県藤沢市にある時宗総本山の寺院。(2008)
- ・**総持寺(1322)**:神奈川県横浜市鶴見区鶴見二丁目にある曹洞宗大本山の寺院である。本尊は釈迦如来。(2006)
- ・**天龍寺(1345)**:京都府京都市右京区にある、臨済宗天龍寺派大本山の寺院。本尊は釈迦如来、開基(創立者)は足利尊氏、開山(初代住職)は夢窓疎石である。(2008)
- ・**相国寺(1392)**:京都市上京区にある臨済宗相国寺派大本山の寺である。本尊は釈迦如来、開基(創立者)は足利義満、開山(初代住職)は夢窓疎石である。(2008)
- ・**寛永寺(1625)**:東京都台東区上野桜木一丁目にある天台宗関東総本山の寺院。開基(創立者)は徳川家光、開山(初代住職)は天海、本尊は薬師如来である。(2008)

## ●芸術家

- ・**鞍作鳥[止利仏師]**:飛鳥時代の仏師。代表作は飛鳥寺「釈迦如来像」[飛鳥大仏]、法隆寺金堂「釈迦三尊像」。(2008)
- ・**紀貫之**:平安初期の貴族・歌人。醍醐天皇勅撰の「古今和歌集」の撰者の一人。著作に「土佐日記」がある。(2008)(2009)(2010)
- ・**定朝**:平安中期の仏師。大量生産の可能な寄木造の手法を確立した。代表作は平等院鳳凰堂「阿弥陀如来像」。(2006)
- ・**運慶**:平安末期から鎌倉初期の仏師。豪放な力強さと写実に特色があり、鎌倉新様式を築いた。代表作は快慶との合作による東大寺南大門「金剛力士像」。(2006)(2014)
- ・**快慶**:鎌倉時代の仏師。運慶の力強い作風と比べて、流麗で親しみやすく安阿弥様(よう)と称される。作品は、東大寺の阿弥陀如来・地藏菩薩像などが残る。(2014)
- ・**湛慶**:鎌倉時代の仏師。父とともに東大寺、興福寺の復興造仏に従事。また高野山の金剛力士像、三十三間堂本堂の中尊千手観音像なども制作。(2014)
- ・**世阿弥**:室町初期の能の大成者。父・観阿弥とともに足利義満の保護を受ける。「風姿花伝[花伝書]」を著す。
- ・**雪舟**:室町後期の画僧。日本の水墨画を完成させた。代表作は「四季山水図巻[山水長巻]」「秋冬山水図」。(2009)(2012)
- ・**狩野永徳**:安土桃山時代の画家。信長・秀吉に仕え、豪壮な障壁画を描いた。代表作に「唐獅子図屏風」。(2009)(2010)

- ・**狩野山楽**:桃山時代の画家。狩野永徳の弟子となり、師を助けて活躍た。代表作に、大覚寺宸殿・正寝殿の「牡丹図」「松鷹図」などの障壁画、「車争図屏風」「龍虎図屏風」などがある。(2011)(2014)
- ・**海北友松**:桃山時代の画家。画技は狩野元信・狩野永徳に学んだとされるが、永徳の気宇の大きさと宋元画の精神性を止揚した独特の画境を開拓した。(2011)(2014)
- ・**長谷川等伯**:安土桃山時代から江戸時代初期にかけての絵師。狩野永徳、海北友松、雲谷等顔らと並び桃山時代を代表する画人である。(2009)(2011)
- ・**松尾芭蕉**:江戸前期の俳人。蕉風俳諧を確立。東北地方を旅し、多くの紀行文を残した。代表作「奥の細道」。
- ・**井原西鶴**:浮世草子作者。代表作は「好色一代男」(好色物)、「日本永代蔵」「世間胸算用」(町人物)。(2013)
- ・**菱川師宣**:江戸前期の浮世絵師。浮世絵の祖とされる。代表作に「見返り美人」がある。(2008)(2010)
- ・**尾形光琳**:江戸中期の画家。俵屋宗達の画風の影響を強く受ける。代表作「紅白梅図屏風」「燕子花図屏風」。(2008)(2011)
- ・**渡辺崋山**:江戸時代後期の武士、画家。三河国田原藩の藩士であり、のち家老となった。(2008)
- ・**司馬江漢**:江戸時代の絵師、蘭学者。浮世絵師の鈴木春重は同一人物。(2008)
- ・**歌川広重**:江戸時代末期の浮世絵師。代表作「東海道五十三次」(2011)
- ・**葛飾北斎**:江戸時代後期の浮世絵師。化政文化を代表する一人。代表作「富嶽三十六景」(2011)
- ・**喜多川歌麿**:江戸時代の浮世絵師。(2008)(2011)
- ・**鈴木春信**:江戸時代の美人画の浮世絵師(2008)(2011)
- ・**東洲斎写楽**:江戸時代中期の浮世絵師。(2011)
- ・**円山応挙**:江戸時代中期～後期の絵師。近現代の京都画壇にまでその系統が続く「円山派」の祖であり、写生を重視した親しみやすい画風が特色である。(2009)
- ・**滝廉太郎**:音楽家、作曲家。明治の西洋音楽黎明期における代表的な音楽家の一人。(2011)
- ・**菱田春草(ひしだしゅんそう)(1874～1911)**:明治時代の日本画家。岡倉天心にまなぶ。のち天心らの日本美術院創立に参加。代表作に「落葉」「黒き猫」。(2014)
- ・**岡倉天心(1863～1913)**:美術行政家・思想家。日本及び東洋の文化の優秀性を内外に訴えた。著に『茶の本』『東洋の理想』『日本の覚醒』がある。(2006)(2010)(2014)
- ・**横山大観(1868～1958)**:日本画家。岡倉天心・橋本雅邦に師事し、日本美術院の創立に参加。天心没後は再興日本美術院を主宰。文化勲章受章。(2014)
- ・**竹内栖鳳(たけうちせいほう)(1864～1942)**:戦前の日本画家。第1回文化勲章受章者。動物を描けば、その匂いまで描くといわれた達人であった。(2014)
- ・**池田遙邨(いけだようそん)(1895～1988)**:倉敷市出身の日本画家。本名は池田昇一。(2014)
- ・**西村五雲(にしむらごうん)(1877～1938)**:京都出身の日本画家。動物の生態を生き生きと捉える絵を描き、平和でのどかな動物画を得意としていた。(2014)

## ●三筆(9 世紀)

- ・空海
- ・橘逸勢
- ・嵯峨天皇

## ●三蹟(10 世紀)

- ・小野道風(2009)
- ・藤原佐理
- ・藤原行成

## ●室町時代に活動した水墨画家

- ・明兆(2008)
- ・如拙(2009)
- ・周文
- ・雪舟(2008)

## ●仏像

- ・空也上人像(くうやしやうにんぞう):空也の彫像は、六波羅蜜寺が所蔵する立像(運慶の四男 康勝の作)が、最も有名である。(2014)
- ・僧形八幡神像(そうぎやうはちまんしんぞう):薬師寺蔵の同神像 (9 世紀末)、および東大寺蔵の快慶作坐像 (1201) が代表作例。(2009)(2014)
- ・蘭溪道隆像(らんけいどうりゅうぞう):朗然居士(ろうねんこじ)(北条時宗の居士名か?)のために描かれたもの。(2014)
- ・平清盛坐像(たいらのきよもりぞう):京都市東山区の六波羅蜜寺蔵。重要文化財。(2014)

## ●博物館

- ・東京国立博物館(1872):日本最古の博物館。国宝 87 件、重要文化財 633 件を含む収蔵品の総数は 115,653 件ある。日本と東洋の文化財の収集保管、展示公開、調査研究、普及などを目的としている。(2014)
- ・国立科学博物館(1877):「自然科学及び社会教育の振興を図る」ことを目的とした博物館である。(2014)
- ・奈良国立博物館(1895):仏教美術を中心とした文化財の収集、保管、研究、展示を行う。毎年秋に実施される「正倉院展」の会場でもある。(2014)
- ・京都国立博物館(1897):主に平安時代から江戸時代にかけての京都の文化を中心とした文化財を、収集・保管・展示するとともに、文化財に関する研究、普及活動を行っている。(2014)
- ・国立民族学博物館(1977):民族学・文化人類学を中心とした研究・展示を行っている、博物館を持った研究所である。大阪府吹田市の万博記念公園にある。(2014)

## ●学者・文人

- **阿倍仲麻呂**: 奈良初期留学生として入唐。帰国途上で暴風雨に遭い、帰国を断念。唐に留まり玄宗皇帝に仕えた。
- **菅原道真**: 平安前期の公卿・学者。894年遣唐使の廃止を建議し認められた。のち、讒言により大宰府に左遷。(2009)(2010)
- **一条兼良**: 室町中期の政治家・学者。関白太政大臣。有職故実(ゆうそくこじつ)・古典に通じた当代随一の学者。(2014)
- **北畠親房**: 南北朝時代の公家・武将・学者。後醍醐天皇に仕え、建武政権成立後、東北経営にあたった。「神皇正統記」を著した。(2008)(2014)
- **ト部兼方(うらべかねかた)**: 鎌倉中期の古典学者。ト部家は、もと神祇官(じんぎかん)の下級官僚家の一つであったが、しだいにその地位を固め、また古典伝承の家としても知られていた。(2014)
- **千利休**: 戦国時代から安土桃山時代にかけての商人、茶人。わび茶の完成者として知られ、茶聖とも称せられる。(2009)
- **藤原惺窩**: 戦国時代から江戸時代前期にかけての儒学者。近世儒学の祖。(2008)
- **契沖**: 江戸時代前期の国学者。真言宗の僧。徳川光圀(みつくに)の依頼で「万葉集」を注釈し、「万葉代匠記」をあらわす。(2013)(2014)
- **山鹿素行**: 江戸時代前期の兵法家、儒者。著作に「配所残筆」「武家事紀」など。(2014)
- **熊沢蕃山**: 江戸前期の儒学者。中江藤樹に陽明学を学び、岡山藩主池田光政に仕えた。「大学或問(わくもん)」を著した。(2014)
- **林羅山**: 江戸前期の朱子学者。上野忍岡に家塾を開く。(2008)
- **新井白石**: 江戸中期の儒者・政治家。6・7代将軍の下で「正徳の治」を行う。著書に「読史余論」「西洋紀聞」など。(2007)(2010)(2011)(2014)
- **荻生徂徠**: 江戸中期の儒者。古文辞学(古学一派)の祖。江戸に・園塾を開く。著書は「政談」など。
- **前野良沢**: 江戸中期の蘭医。蘭語の解剖書「ターヘル・アナトミア」を杉田玄白らと共に翻訳、「解体新書」として刊行。(2009)
- **杉田玄白**: 江戸中期の蘭医。「ターヘル・アナトミア」翻訳の苦勞を記した「蘭学事始」はつとに知られる。(2009)(2010)
- **青木昆陽**: 江戸時代中期の儒学者、蘭学者。(2009)
- **大槻玄沢**: 一関藩出身の江戸時代後期の蘭学者。「解体新書」の翻訳で有名な杉田玄白・前野良沢の弟子。(2009)
- **稲村三伯**: (2009)
- **本居宣長**: 江戸中期の国学者。「古事記伝」などを著し、儒教・仏教を排して「もののあはれ」「古道」を賞揚した。(2010)(2011)
- **高野長英**: 江戸後期の蘭学者。長崎でシーボルトに学ぶ。1839年「蛮社の獄」で渡辺崋山らとともに弾圧される。(2012)
- **吉田松陰**: 1854年ペリー来航の際海外密航を企て幽閉。松下村塾から優秀な人材を輩出するも、安政の大獄で斬首。

- ・岡倉天心:東京美術学校の設立(2010)
- ・小山内薫:自由劇場の結成(2010)
- ・辰野金吾:東京駅の設計(2010)
- ・黒田清輝:白馬会の結成(2010)
- ・浅井忠:明治美術会を設立(2010)
- ・福澤諭吉:日本の武士、蘭学者、著述家、啓蒙思想家、教育者。慶應義塾の創設者。著書「学問のすすめ」(2008)(2010)(2011)
- ・中江兆民:思想家、ジャーナリスト、政治家。フランスの思想家ジャン＝ジャック・ルソーを日本へ紹介して自由民権運動の理論的指導者となった。東洋のルソーと評される。(2008)
- ・吉野作造:明治・大正の政治学者。彼が提唱した「民本主義」は大正デモクラシーの理論的支柱となった。(2010)
- ・朝永振一郎:物理学者。東京の生まれ。東京教育大学学長。量子電磁力学の発展に寄与し、昭和40年(1965)ノーベル物理学賞受賞。同27年には文化勲章受章。(2014)
- ・江崎玲於奈:物理学者。筑波大学学長。大阪の生まれ。昭和32年(1957)エサキダイオードを発明。昭和48年(1973)、半導体の研究でノーベル物理学賞受賞。翌年、文化勲章受章。(2014)

## ●実業家

- ・角倉了以(すみのくらりょうい)(1554～1614):戦国期の京都の豪商。朱印船貿易の開始とともに安南国との貿易を行い、山城(京都)の大堰川、高瀬川を私財を投じて開削した。(2012)
- ・茶屋四郎次郎:安土桃山時代から江戸時代にかけての公儀呉服師を世襲した京都の豪商。(2013)
- ・高田屋嘉兵衛(1769～1827):江戸時代後期の廻船業者、海商である。ゴローニン事件でカムチャツカに連行されるが、日露交渉の間に立ち、事件解決へ導いた。(2013)

## ●歌人

- ・藤原定家:平安末期・鎌倉初期の歌人・歌学者。「新古今和歌集」(共撰)、「新勅撰和歌集」を撰した。歌論書「近代秀歌」「毎月抄」、撰集「小倉百人一首」、日記「明月記など。(2011)(2014)
- ・藤原家隆:鎌倉初期の歌人。和歌を俊成に学び、抒情清艶な歌風で、定家とともに後鳥羽院歌壇の主要歌人。「新古今和歌集」撰者の一人。(2011)(2014)
- ・松尾芭蕉:江戸前期の俳人。その句の多くは「俳諧七部集」に収められている。紀行に「野ざらし紀行」「笈(おい)の小文」「奥の細道」「更科紀行」、日記に「嵯峨日記」など。(2007)(2009)(2011)(2014)
- ・与謝野蕪村:蕪村句集(2007)
- ・正岡子規:俳人、歌人、国語学研究者。俳句、短歌、新体詩、小説、評論、随筆など多方面に亘り創作活動を行い、日本の近代文学に多大な影響を及ぼした、(2008)
- ・与謝野晶子:歌人、作家、思想家。「みだれ髪」(2009)(2007)

## ●歌集など

- ・**懐風藻**: 現存する最古の日本漢詩集。(2009)
- ・**万葉集**: 7 世紀後半から 8 世紀後半ころにかけて編まれた日本に現存する最古の和歌集である。さまざまな身分の人間が詠んだ歌を 4500 首以上も集めたもので、成立は 759 年以後とみられる。(2009)
- ・**古今和歌集**: 醍醐天皇の詔により撰ばれた最初の勅撰和歌集。歌数は 1111 首。(2006)(2011)(2014)
- ・**後撰和歌集**: 略称<後撰集>。<古今和歌集>をつぐ平安時代第 2 の勅撰和歌集。(2014)
- ・**拾遺和歌集**: <三代集>の一つとして第 3 番目の勅撰和歌集。(2014)
- ・**三代集**: 平安初期の三つの勅撰和歌集、<古今和歌集><後撰和歌集><拾遺和歌集>をいう。勅撰集の最初の 3 集として重んぜられ、編集その他、後の模範とされた。三代とは撰集を命じた醍醐・村上・花山天皇の時代の意。
- ・**後拾遺和歌集**: 第四番目の勅撰和歌集。白河法皇下命、藤原通俊撰。女流歌人の歌が多く、また叙景歌に新しい方向が示されている。(2014)
- ・**山家集**: 平安末期の歌僧西行法師の家集。(2008)(2011)
- ・**新古今和歌集**: 後鳥羽院の命によって編纂された勅撰和歌集。(2011)
- ・**金槐和歌集**: 鎌倉時代前期の私家集。源実朝著。(2008)(2010)
- ・**みだれ髪**: 与謝野晶子作の処女歌集。(2008)(2009)(2010)

## ●歴史書など

- ・**古事記**: 日本最古の歴史書である。712 年に 太安万侶が編纂し元明天皇に献上された。
- ・**日本書紀**: 奈良時代に成立した日本の歴史書。日本に伝存する最古の正史で、六国史の第一にあたる。舎人親王らの撰で、養老 4 年に完成した。神代から持統天皇の時代までを扱う。(2009)
- ・**風土記**: 一般には地方の歴史や文物を記した地誌のことをさすが、狭義には、日本の奈良時代に地方の文化風土や地勢等を国ごとに記録編纂して、天皇に献上させた報告書をさす。(2009)
- ・**愚管抄**: 鎌倉時代初期の史論書。作者は天台宗僧侶の慈円。(2010)
- ・**吾妻鏡**: 鎌倉時代に成立した日本の歴史書。鎌倉幕府の初代将軍・源頼朝から第 6 代将軍・宗尊親王まで 6 代の将軍記という構成。(2007)(2011)(2012)(2013)

## ●四鏡(しきょう)

平安時代後期から室町時代前期までに成立した「鏡物(かがみもの)」と呼ばれる 4 つの歴史物語(歴史書)。

- ・**大鏡**: (2007)(2012)
- ・**今鏡**: (2012)
- ・**水鏡**: (2012)(2013)
- ・**増鏡**: (2012)(2013)

## ●日記・紀行

- ・蜻蛉日記:藤原道の母(2010)
- ・和泉式部日記:和泉式部(2010)
- ・更級日記:菅原孝標の女(2010)
- ・十六夜日記:阿仏尼(2010)(2011)
- ・笈の小文:松尾芭蕉(2011)

## ●物語

- ・竹取物語:(2011)
- ・源氏物語:紫式部(2009)
- ・平家物語:(2009)
- ・伊勢物語:(2011)
- ・宇津保物語:(2011)
- ・大和物語:(2011)
- ・落窪物語:(2011)

## ●随筆

- ・枕草子:清少納言(2009)
- ・方丈記:鴨長明(2009)(2010)(2013)
- ・徒然草:吉田兼好(2009)(2010)

## ●小説家

- ・井原西鶴:江戸時代前期の俳人、浮世草子作者。「好色五人女」「好色一代女」、武家物「武道伝来記」、町人物「日本永代蔵」「世間胸算用」。(2011)(2013)(2014)
- ・近松門左衛門:江戸中期の浄瑠璃・歌舞伎作者。坂田藤十郎のために脚本を書き、その名演技と相まって上方歌舞伎の全盛を招いた。代表作「国性爺合戦」「曾根崎心中」「心中天網島」。(2008)(2011)(2012)(2013)
- ・島崎籐村:若菜集、破戒(2010)
- ・坪内逍遙:小説神髓(2008)
- ・幸田露伴:五重塔(2010)
- ・高野聖:泉鏡花(2011)
- ・長塚節:土(2011)
- ・芥川龍之介:羅生門(2011)
- ・小林多喜:蟹工船(2011)
- ・有島武郎:或る女(2011)
- ・谷崎潤一郎:痴人の愛、細雪(2014)
- ・志賀直哉:暗夜行路(2011)
- ・森鷗外:舞姫(2009)
- ・尾崎紅葉:金色夜叉(2008)(2009)



- ・二葉亭四迷:浮雲(2008)
- ・樋口一葉:たけくらべ、にぎりえ(2008)(2009)

## ●日本と世界との関わり

- ・日米和親条約(1854):老中阿部正弘とアメリカのペリーとの間で締結された条約。神奈川条約とも呼ばれる。(2009)(2010)
- ・日米修好通商条約(1858):江戸幕府が米国総領事ハリスとの間に調印した条約。
- ・下関条約(1895):日清戦争の講和条約。日本全権伊藤博文・陸奥宗光と清国全権李鴻章が下関で調印。(2008)(2011)
- ・日英同盟(1902):桂内閣の時に締結された、ロシアの南下策に対するイギリスとの同盟。(2011)
- ・日清戦争(1894～95):朝鮮の支配権をめぐる日清両国の戦争。日本の勝利に終わり、下関で講和条約が締結された。
- ・日露戦争(1904～05):満州をめぐる日露両国の戦争は、日本の勝利に終わった。
- ・ポーツマス条約(1905):アメリカのポーツマスで調印した日露戦争の講和条約。(2008)(2009)
- ・サンフランシスコ平和条約(1951):日本と連合国 48 カ国との間に結ばれた第 2 次世界大戦終結のための講和条約。日本全権は吉田茂。翌年、日本は主権を回復した。

## ●日本に関係の深い外国人

- ・朝鮮通信使:李氏朝鮮の国王が日本国王(日本の外交権者)に国書を手交するために派遣した使節。日本では朝鮮来聘(らいへい)使とも呼ぶ。(2014)
- ・鑑真(688～763):唐の僧。日本の律宗の祖。8世紀中頃に来朝、東大寺に戒壇を設け聖武上皇以下に授戒。唐招提寺を創建。(過去 3 回以上出題された)
- ・ザビエル(1506～1552):1549 年鹿児島に来日。のち平戸、山口で伝道し、日本で最初のキリスト教(カトリック)伝道者となる。(2008)
- ・フロイス(1532～1597):16 世紀半ばにイエズス会宣教師として来日。信長、秀吉と親交を深める。名著「日本史」を残した。(2006)(2013)
- ・ヴァリニャーニ(1539～1606):安土桃山時代から江戸時代初期の日本を訪れたイエズス会員、カトリック教会の司祭。(2008)(2011)(2013)
- ・オルガンティーノ(1533～1609):戦国時代末期の日本で宣教活動を行ったイタリア人宣教師。カトリック司祭。イエズス会員。織田信長や豊臣秀吉などの時の権力者とも知己となり、激動の戦国時代の目撃者となった。(2008)
- ・マテオ・リッチ(1552～1610):イタリア人イエズス会員・カトリック教会の司祭。中国にヨーロッパの最新技術を伝えると共に、ヨーロッパに中国文化を紹介し、東西文化の架け橋となった。:(2008)
- ・ウィリアム・アダムズ(1564～1620):江戸時代初期に徳川家康に外交顧問として仕えたイングランド人航海士・水先案内人・貿易家。三浦按針(みうら あんじん)の日本名でも知られる。(2010)
- ・ケンペル(1651～1716):ドイツ人の医師、博物学者。ヨーロッパにおいて日本を初めて体系的に記述した『日本誌』の原著者。(2011)
- ・シドッチ(1668～1714):イタリア人イエズス会の宣教師で、1708 年に屋久島に上陸したが捕らえられ、江戸に送られ 5 年後に亡くなる。(2011)(2013)

- ・レザノフ(1764～1807):ロシアの実業家。1804年に通商を開くため遣日使節として長崎に来航したが幕府に拒絶され、報復として樺太(からふと)・択捉(えとろふ)などを攻撃した。(2010)(2014)
- ・ラスクマン(1766～1806):ロシア最初の遣日使節として、1792年にエカテリーナ号でオホーツクを出発し根室に到着した。(2010)(2013)
- ・クルーゼンシュテルン(1770～1846):ロシアの軍人。日本への使節レザノフをのせた世界周航艦隊を指揮して、1803年に長崎につく。通商交渉を幕府に拒否されたのち、日本海を北上、北海道、千島などの沿岸を測量。(2014)
- ・ゴローウニン(1776～1831):ロシア帝国(ロマノフ朝)の海軍軍人、探検家、学者。(2010)
- ・ビッドル(1783～1848):フィラデルフィアの名門出身のアメリカ海軍の士官。1846年には東インド艦隊の司令官として日本開国を試みるが失敗した。(2011)(2014)
- ・シーボルト(1796～1866):19世紀前期に来日、長崎郊外に鳴滝塾を開き医学などを教える。1828年シーボルト事件により国外追放。(2007)(2011)(2013)
- ・ペリー(1794～1858):アメリカ海軍軍人。東インド艦隊司令官として、1853年7月8日、フィルモア大統領の將軍あて書簡をたずさえ、軍艦4隻で江戸湾に到着、威圧的に開港を迫り、翌年再び江戸へ来て日米和親条約を締結した。(2009)(2010)
- ・プチャーチン(1803～1883):ロシアの提督、政治家。海軍兵学校の出身。1842年カスピ海におけるロシアの権益を守るためイランに派遣された。(2014)
- ・ハリス(1804～1878):初代駐日米総領事として下田に着任。1858年日米修好通商条約の締結に成功する。(2010)
- ・ヘボン(1815～1911):アメリカ人宣教師。1859年来日。ヘボン式ローマ字を考案し、「英和学院」(現明治学院大学)を開いた。(過去3回以上出題された)
- ・シュタイン(1815～1890):ドイツの法学者・思想家。伊藤博文にドイツ式の立憲体制を薦めて、大日本帝国憲法制定のきっかけを与えた人物(2011)
- ・グナイスト(1816～1895):プロイセン時代のドイツの法学者で政治家。伊藤博文、伊東巳代治ら日本の憲法調査団にドイツ国法学を講義し、明治憲法にも影響を及ぼした。(2011)
- ・フォンタネージ(1818～1882):イタリアの画家。明治9年(1876)来日、工部美術学校教授となり、浅井忠(あさいちゅう)・小山正太郎などを指導。(2014)(2013)
- ・ボアソナード(1825～1910):フランスの法学者で、幕末に締結された不平等条約による治外法権に代表される不平等条項の撤廃のため、日本の国内法の整備に大きな貢献を果たし、「日本近代法の父」と呼ばれている。(2011)(2012)
- ・ウィリアム・クラーク(1826～1886):アメリカ合衆国の教育者。化学、植物学、動物学の教師。農学教育のリーダー。札幌農学校初代教頭。(2012)
- ・ポンペ(1829～1908):幕末に来日したオランダの海軍軍医。日本が系統的な西洋医学を導入するのに大きな役割を果たした。(2014)
- ・フルベッキ(1830～1898):オランダ出身で、アメリカ合衆国に移民し、日本に宣教師として派遣され活躍した法学者・神学者、宣教師。(2011)(2013)
- ・モース(1838～1925):明治初期に来日、動物学を講じた。大森貝塚を発掘し日本の考古学の祖となる。著書「日本その日その日」。(2012)(2013)
- ・ラダーザ(1841～1927):明治期に来日し、日本に近代洋風彫刻を紹介、指導したイタリア人彫刻

家。(2010)(2014)

- **モッセ(1846～1925)**:ドイツの法律家でお雇い外国人として日本に招かれた一人。「明治憲法の父」といわれる。(2011)
- **キヨソネ(1832～1898)**:イタリアの銅版画家。大蔵省紙幣寮で各種紙幣・郵便切手などを製作。日本における印刷術の基礎づくりに貢献。明治天皇・西郷隆盛・大久保利通などの肖像もかいた。(2013)(2014)(2013)
- **クロバトキン(1848～1925)**:帝政ロシアの軍人。陸軍大臣、日露戦争時のロシア満州軍総司令官を歴任した。(2010)
- **ヴィッテ (1849～1915)**:帝政ロシア末期の政治家。(2010)
- **ラフカディオ・ハーン(1850～1904)**:明治中期に来日、帰化して小泉八雲となる。著書に「怪談」「神国日本」「人生と文学」など。(出題多数)
- **ジョサイア・コンドル(1852～1920)**:イギリスのロンドン出身の建築家。お雇い外国人として来日し、政府関連の建物の設計を手がけた。(2006)(2010)(2014)
- **フェノロサ(1853～1908)**:明治初期に来日、日本の伝統美術の復興に尽力し、岡倉天心とともに東京美術学校を創立した。(2006)(2010)(2011)(2013)(2014)

### ●外国船に関わる事件

- **アロー号事件(1856～1860)**:清とイギリス・フランス連合軍との間で起こった戦争。最終的に北京条約で終結し、清の半植民地化が決定的なものとなった。(2009)
- **フェートン号事件(1808)**:鎖国体制下の日本の長崎港で起きたイギリス軍艦侵入事件。(2009)
- **モリソン号事件(1837)**:日本人漂流民(音吉ら 7 人)を乗せたアメリカ合衆国の商船を日本側砲台が砲撃した事件。(2009)
- **ノルマントン号事件(1886)**:イギリス船籍の貨物船ノルマントン号が、紀州沖で座礁沈没した事から始まった紛争事件。(2009)
- **サン＝フェリペ号事件(1596)**:土佐にスペインのサン＝フェリペ号が漂着した事件。豊臣秀吉の唯一のキリスト教徒への直接的迫害(日本二十六聖人殉教)のきっかけとなったとされる。(2009)

### ●教育機関

- **綜芸種智院**:空海が庶民教育や各種学芸の総合的教育を目的に、京都の左京九条に設置した私立学校。(空海)(2012)
- **鳴滝塾(長崎県)(1824)**:シーボルトが長崎郊外に設けた私塾。診療所も兼ねていた。(2007)(2011)(2013)
- **松下村塾**:幕末に、長州萩城下の松本村に吉田松陰が指導した私塾。塾生の中から、幕末より明治期の日本を主導した人材を多く輩出したことで知られる。(2007)
- **適塾**:蘭学者・医者として知られる緒方洪庵が江戸時代後期に大坂・船場に開いた蘭学の私塾。(2007)
- **古義堂**:江戸時代の1662年、京都に、伊藤仁斎がその生家で開いた儒学を教える家塾。(2007)

## ●重要施設

- ・**八幡製鉄所**: 明治 34 年(1901)日本初の銑鋼一貫操業を開始した官営製鉄所。(2006)(2012)(2014)
- ・**横須賀造船所**: 江戸幕府により横須賀市に開設された造船所。江戸開城後は明治政府が引き継ぎ、のちに海軍省の管轄となる。現在は在日米軍横須賀海軍施設となっている。(2012)
- ・**三池炭鉱(福岡県)**: 日本の近代化を支えてきた炭鉱であったが 1997 年に閉山した。2015 年 7 月に世界文化遺産としての登録された。(2006)
- ・**富岡製糸場**: 日本初の本格的な製糸工場。「富岡製糸場と絹産業遺産群」として、2014 年 6 月に世界文化遺産としての登録された。(2006)
- ・**長崎造船所**: 長崎県長崎市と諫早市にある三菱重工業の造船所・工場。「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として、2014 年 6 月に世界文化遺産としての登録された。(2006)
- ・**東洋拓殖会社**: 日露戦争後の 1908 年に設立され、1945 年の第二次世界大戦の終結まで、京城府及び満州国、モンゴル、サハリン、南洋諸島、ミクロネシアに存在した大日本帝国の特殊会社。(2006)

## ●重要名数

- ・**三筆**: 嵯峨天皇、橘逸勢、空海(弘仁・貞観文化)(平安時代初期)(唐様)
- ・**三蹟**: 小野道風、藤原佐理、藤原行成(国風文化)(平安時代中期)(和様)
- ・**三管領**: 斯波家、細川家、畠山家
- ・**御三家**: 尾張家、紀伊家、水戸家
- ・**御三卿**: 田安家、一橋家、清水家
- ・**江戸の三大改革**: 享保の改革(徳川吉宗)、寛政の改革(松平定信)、天保の改革(水野忠邦)
- ・**明治維新の三傑**: 西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允
- ・**国学四大人(うし)**: 荷田春満、賀茂真淵、本居宣長、平田篤胤
- ・**四天王**: 持国天、広目天、増長天、多聞天
- ・**五街道**: 東海道、中山道、日光道中、奥州道中、甲州道中

## ●写真問題に出題される可能性のあるもの

- ・<Flashcards Deluxe>の「日本歴史に出る写真」をご利用ください  
<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/35e45334cca19e6f8df802b215963d40>

- ・高松塚古墳壁画(2010)
- ・弾正台(2011)
- ・大宰府天満宮(2009)(2011)
- ・法隆寺金堂(2009)(2011)
- ・法隆寺金堂壁画(白鳳文化)(2010)
- ・正倉院鳥毛立女屏風(2009)(2010)
- ・法華寺十一面観音像(2010)

- ・富嶽三十六景(葛飾北斎)
- ・東海道五十三次(歌川広重)
- ・龍虎図(橋本雅邦)
- ・東大寺三月堂(2011)
- ・東大寺正倉院(2011)
- ・東大寺南大門金剛力士像
- ・西本願寺飛雲閣(2008)
- ・慈照寺東求堂(2008)
- ・醍醐寺三寶院(2008)
- ・巖島神社(2008)
- ・比叡山延暦寺(2009)
- ・鶴岡八幡宮(2009)
- ・信濃善光寺(2009)
- ・下野薬師寺(2009)
- ・清水寺(2009)
- ・鳥獣戯画(鳥羽僧正)(2008)
- ・中尊寺金色堂(藤原清衡)
- ・中宮寺天寿国繡帳(2010)(2011)
- ・中宮寺半跏思惟像(2010)
- ・広隆寺半跏思惟像(2009)
- ・室生寺釈迦如来像 (2010)
- ・東照宮陽明門(2009)
- ・中尊寺金色堂(2009)
- ・平等院鳳凰堂(定朝、藤原頼通)(2010)(2012)
- ・薬師寺東塔
- ・弾琴美人(鈴木春信)
- ・当麻寺当麻曼荼羅(2010)(2011)
- ・東大寺不空羼索觀音像
- ・観心寺如意輪觀音像(2010)
- ・神護寺金堂薬師如来像(2010)
- ・円覚寺舍利殿(禅宗様)
- ・薬師寺薬師三尊像
- ・富貴寺大堂(大分県)
- ・修学院離宮(後水尾天皇)(2008)
- ・桂離宮(2012)
- ・天龍寺(2010)(2008)
- ・平安神宮(2010)
- ・二条城(2009)(2011)
- ・下鴨神社(2009)

- ・聚楽第(2011)
- ・五稜郭(2011)
- ・ニコライ堂(2010)
- ・赤坂離宮(2010)
- ・花沢館(2011)
- ・興福寺阿修羅像
- ・三十三間堂(2010)
- ・臼杵磨崖仏(大分県)
- ・洛中洛外図屏風(2010)
- ・竜安寺石庭
- ・紅白梅図屏風(尾形光琳)

## ●歴史用語

- ・**封建制度**: 中世社会の基本的な支配形態。封土の給与とその代償としての忠勤奉仕を基礎として成立する、領主・家臣の間の主従関係に基づく統治制度。また、領主が生産者である農民を身分的に支配する社会経済制度。もとは、Feudalism の訳語として、近・現代になって、中国語の「封建制」という言葉を援用・転用したもの。
- ・**得宗専制**: 鎌倉幕府において執権を務める北条氏の惣領である得宗(とくそう)に幕府権力が集中して専制政治が行われたこと、またその時期を指す。鎌倉幕府の歴史を 3 つに分けた場合、源氏将軍・執権政治に続く第 3 の時期にあたる。(2014)
- ・**荘園公領制**: 日本の中世における、荘園と公領(朝廷・国衙(こくが)・幕府などの領地)を土台とした、重層的土地支配構造のことである。11 世紀中後期から 12 世紀初期にかけて成立し、院政期を通じて発展し、鎌倉時代前後に最盛期を迎えた。その一方で、鎌倉時代には地頭による侵食を受け、室町時代には守護(守護大名)によって蚕食されるなど、武士の進出に伴って次第に解体への道を進み、戦国時代頃までにはほぼ形骸化した。最終的には太閤検地で消滅する。
- ・**院政**: 上皇、法皇の執政を常態とする政治形態。律令政治が天皇と貴族の共同統治的官僚政治であり、摂関政治が上級官僚貴族の寡頭政治的色彩が強いのに対し、白河上皇の専制的な権勢のもとに定着した政治形態を、後世の史家が院政と名付けたのである。(2014)(2011)

## ●キリスト教の禁教から鎖国完成までの流れ

江戸幕府は、当初、安土桃山時代から続く南蛮貿易について、その独占と管理に重点を置き、開国を維持する政策を採った。1604 年(慶長 9 年)には、江戸幕府が初めて内外貿易船に朱印状を下付して朱印船貿易を始め、同年には糸割符制度も始めた。貿易関係は維持したものの、キリスト教に対する警戒は強まり、特に布教に力を入れるスペインなどのカトリック国を冷遇し、貿易に力を入れるオランダやイギリスなどの新教国を厚遇する措置をとった。

1609 年にオランダ、1613 年(慶長 18 年)にはイギリスが、肥前国平戸(長崎県平戸市)に商館を置いて平戸貿易が始まると、その傾向は顕著になった。なお、スペイン人・ポルトガル人を南蛮人というのに対して、オランダ人は紅毛人と呼ばれ、後には広く西洋人一般を紅毛人と称した。

「鎖国」体制は、第 2 代将軍徳川秀忠の治世に始まり、第 3 代将軍徳川家光の治世(在職:1623

～1651)に完成した。

1612 年:幕領に禁教令

1616 年:明朝以外の船の入港を長崎・平戸に限定する。

1623 年:イギリス、業績不振のため平戸商館を閉鎖。

1624 年:スペインとの国交を断絶、来航を禁止。

1628 年:タイオワン事件の影響で、オランダとの交易が4年間途絶える。

1631 年:奉書船制度の開始。朱印船に朱印状以外に老中の奉書が必要となった。

1633 年:第1次鎖国令。奉書船以外の渡航を禁じ、海外に5年以上居留する日本人の帰国を禁じた。

1634 年:第2次鎖国令。第1次鎖国令の再通達。長崎に出島の建設を開始。

1635 年:第3次鎖国令。中国・オランダなど外国船の入港を長崎のみに限定。東南アジア方面への日本人の渡航及び日本人の帰国を禁じた。

1636 年:第4次鎖国令。ポルトガル人を出島に移す。

1637 年～1638 年:島原の乱。幕府に武器弾薬をオランダが援助。

1639 年:第5次鎖国令。ポルトガル船の入港を禁止。それに先立ち幕府はポルトガルに代わりオランダが必需品を提供できるかを確認している。

以上